

第 23 回全国障害者スポーツ大会「SAGA2024」 ソフトボール競技実施要領

1 競技規則

令和6(2024)年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則(公益財団法人日本パラスポーツ協会制定)によるもののほか、この要領の定めるところによる。

2 チーム

- (1) チームの編成は、監督1名、コーチ2名以内及びプレーヤー15名以内(男女は問わない。)とする。
- (2) 監督及びコーチがプレーヤーを兼ねる場合は、プレーヤー名簿に登録されていなければプレーヤーとして出場できない。この場合のプレーヤーの人数は、プレーヤーを兼ねる監督及びコーチを含め15名以内とする。

3 競技方法

- (1) 試合は、トーナメント方式とし、3位決定戦を実施する。また、トーナメント戦以外に、交流戦を実施する。
- (2) すべての試合は5回までとする。同点の場合はタイブレークを行う。ただし、延長は2回を限度とし、延長開始後15分を経過した後は、新しい回には入らない。
それでも同点の場合は、最終回に出場していたプレーヤー9名(DP制を採用した場合はFPプレーヤーを除く。)の抽選によって勝敗を決定する。
- (3) 1回戦および準決勝は、試合開始後80分を経過した後は、新しいイニングに入らない。
- (4) 試合は3回終了後、10点以上の差がある時は得点差コールドゲームとする(決勝戦、3位決定戦を含む。)。また、降雨等の事情により試合の継続が不可能と判断され、コールドゲームとなった場合は、3回以上の回を終了していれば、正式の試合と認める(決勝戦を含む。))。
- (5) ファーストピッチにより行う。
- (6) パスボールは適用しない。
- (7) 不正投球が行われたときは、審判により注意(指導)を行う。2度目以降は不正投球として処理する。
- (8) 第2ストライク後の空振りアウトとする。振り逃げ規定は適用しない。
- (9) スクイズ(3塁に走者がいるときのバント)は認めない(バッターアウト)。
- (10) 盗塁が行われた時、該当する走者はアウトとする。
- (11) 投手が投げたボールを、打者が打たなかった場合、ホームベースを通過する時点でボールデッドとする。そのため、盗塁、けん制、暴投による進塁など、その後のプレーは成立しない。
- (12) ボールデッド後のプレー再開の判断は、捕手が投手に返球し、セットを始めたときとする。その時点で走者が帰塁していない場合は、遅延行為とする。走塁に関わる遅延行為があった場合は、審判により注意(指導)を行う。2度目以降は該当者をアウトとして処理する。

- (13) プレーヤーの応急手当が必要な場合や強雨・雷雨時、及びプレーヤーの健康状態を維持するために、給水タイムを実施した場合の時間計測は行わない。
- (14) 試合球はナイガイソフトボール検定3号球(ゴム)とし、主催者が用意する。
- (15) 指名プレーヤー(DP)及び再出場(リエントリー)を採用する。
- (16) 競技場のフェア地域は 61m、塁間距離は 18.29m、投球距離は 13.11mとする。

4 服装等

- (1) 同一チームの監督、コーチ及びプレーヤーは、同色・同意匠のユニフォームを着用しなければならない。また、男子は同色・同意匠の帽子をかぶらなければならない。
- (2) ユニフォームナンバーは、背中と胸下につけなければならない。監督は 30 番、コーチは 31 番と 32 番、主将は 10 番とし、他のプレーヤーは1番から 99 番の番号とする。また、ユニフォームの左袖(左肩から 10 cm程度)に都道府県・指定都市名を表示する。
- (3) 打者・打者走者・走者、次打者及び1・3塁のベースコーチは、両耳あてのある同色のヘルメットを着用する。また、捕手は、スロートガード付きマスク、捕手用ヘルメット、ボディプロテクター及び膝当て付きレガースを着用する。
- (4) 金属製スパイクの使用は禁止する。

5 組合せ

組合せは、令和6(2024)年8月に開催するプログラム編成会議において、主催者が関係者立会いのもとに代理抽選の上、決定する。

6 打順表等

- (1) 打順表は、試合開始時刻の 30 分前までに5部作成し、競技本部へ提出する。
ただし、第1試合は、開始式終了後に提出する。
なお、打順表は監督会議において競技本部から配布する。
- (2) 攻守の決定は、打順表提出時に審判員立会いのもと、コインのトスによって決定する。

7 開始式・表彰式

- (1) 開始式は、競技開始前に競技会場で行う。
- (2) 表彰式は、競技終了後に競技会場で行う。

8 その他

- (1) 監督会議は令和6(2024)年 10 月 25 日(金)に行う。なお、時間及び場所については別途通知する。
- (2) ベンチは、組合せ表の番号が若いチームを1塁側とする。
- (3) ベンチ内へは、監督、コーチ、プレーヤー以外は入ることができない。ただし、チームスタッフとは別にトレーナーを帯同しているチームは、1名に限りベンチに入ることができる。なお、トレーナーは参加申込時に登録した者に限る。このトレーナーは、実際に施術ができる者とし、公認パラスポーツトレーナーの有資格者であることが望まし

い。

- (4) 競技場内へは、主催者の許可を受けた者以外は立ち入ることができない。
- (5) 練習場所については、主催者からの指示に従うものとする。
- (6) 練習球は、各チームが用意する。
- (7) 荒天時ほか不測の事態が生じた場合の取扱いは、主催者において別途決定する。